

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：第1・第3水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL0475-73-3337 FAX73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網450-6 ユアサビル2階
TEL0475-70-0200 FAX70-0220
- 会長：高野 祐二 幹事：板倉 孝雄
- 広報・公共イメージ向上委員会
委員長 齊藤 幸男・会報担当 石田 英世



2020年9月2日(水)

第22巻第 6号

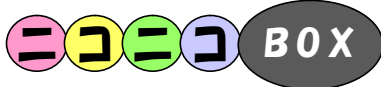
通巻第949号

http://www.oamirotary.com
E-mail rc@oamirotary.com



点 鐘 会長 高野 祐二
ソング 奉仕の理想
会長挨拶 会長 高野 祐二
幹事報告 幹事 板倉 孝雄
プログラム

- ①誕生祝 加藤洋三会員、星野実会員
 - ②奨学金授与式(交通費支給)
奨学生 ロシャーンさん
 - ③卓話 RLI 推進委員会
委員 清田 浩義 様 (千葉RC)
- テーマ:ロータリー・リーダーシップ研究会について



なし

例会日	8月19日	8月5日
会員数	30	30
出席	21	24
欠席	9	6
MU	0	0
免除	0	0
出席率	70.00	80.00

会長挨拶

高野 祐二 会長



本日は、ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識についてお話をさせていただきたいと思います。

ロータリー米山記念奨学会について

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団であり、財源は主に会員の寄付で成り立っています。日本独自のプログラムですが、国際ロータリーからも国内全34地区の他地区合同活動として認められています。1967年に財団法人設立、2012年1

月には公益財団法人に移行しました。

支援の対象は外国人留学生

事業から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象にしています。2020学年度採用の奨学生数は全国で883人と、外国人留学生を対象とした民間の奨学生では国内最大規模です。

これまでに累計で世界129の国と地域からの留学生2万1,624人を支援しています。

世界の平和を願って始まった国際奨学事業

事業の始まりは1952年、東京ロータリークラブの当時会長、古澤丈作氏によって作られた、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学支援する「米山基金」の構想にさかのぼります。「米山」とは、日本のロータリーの父と呼ばれた米山梅吉氏のことです。タイから初めて奨学生を迎えたのは2年後の1954年。以降は、海外からの招きへではなく、在日留学生への支援に方針を変え、東京RCの単独事業から全国の地区に拡大・発展しました。留学生数の増加に伴い、ロータリーの所在国に限らず世界に門戸を開くなど、時代とともに変化しながらも、ロータリアンと外国人留学生との交流を通じて国際親善と世界の平和に寄与する、という事業の目的を今日まで貫いてきました。

最大の特徴は世話クラブ・カウンセラー制度

その目的を実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の一人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、大学生活では得られない出会いと交流を通じて、日本の心、ロータリーの心を学びます。これは会員にとっても、多様な文化や価値観への理解を広げる機会になっています。当クラブでは現在ロシャーンさんを米山奨学生として受け持っております。そのカウンセラーは、石田副幹事をお願いしています。

この場をお借りして感謝申し上げます。

当クラブは、毎年2名から3名の米山記念奨学会とロータリー財団への寄付金を行っております。これについては、四之宮会員が率先し自ら先頭に立って行っております。

クラブ創立以来、継続して行っておりますが、これも四之宮会員の熱い思いからであると思います。四之宮会員にも感謝申し上げます。

今年度米山功労認証者

- 清宮 建治 会員 (メジャードナー) 第14回
- 板倉 達夫 会員 (マルチプル) 第8回
- 石田 英世 会員 第2回

